

鹿児島市 市民生きもの調査 調べてほしい身近な生きもの

トノサマバッタ



見つけるポイント

平地や低い山などの草がまばらな草原でよく見られる。

とくちょう

大きさは3～6cm位の大きいバッタで、大きな羽で10m以上飛ぶことができる。羽に茶色と白のまだら模様がある。頭や足が緑色のものと茶色のものがある。

まちがしやすい生きもの

クルマバッタ、クルマバッタモドキ(見た目はトノサマバッタとほとんど同じ、やや小さい)、カワラバッタ(石のおおい河原にいて黒っぽい灰色)、イボバッタ(茶色のまだら模様で小さい)

モンシロチョウ



見つけるポイント

3月から10月頃、キャベツやアブラナなどの畑を中心に、平地の花壇などでもよく見られる。

とくちょう

大きさは2～3cm位の白いチョウ。羽のふちに黒い模様と、羽の真ん中に黒い点のようがある。

まちがしやすい生きもの

スジグロシロチョウ(羽に細い黒い筋の模様がある。林縁や溪流沿いのほか木の多い公園ではモンシロチョウより多い。)、モンキチョウ(野原、公園に広くいる黄色のチョウ。雌には白っぽいタイプがある。大きさはモンシロチョウと同じくらい。)

ハラビロカマキリ



見つけるポイント

日当たりの良い木の上で見られる。

とくちょう

大きさは5～7cmくらいの通常は緑色のカマキリ、おなかの部分が横に広がっていて、幅広く見える。かま状の前足はやや小さい。木の上にいる。

まちがしやすい生きもの

オオカマキリ(6～9cmと大きい。茶色型と緑型がいる。主に草むらにいる。)、チョウセンカマキリ(オオカマキリよりやや小さい。)、コカマキリ(4～6cmの小さなカマキリ、茶色)、ヒナカマキリ(2cmぐらいの小型のカマキリ、茶色。)

シオカラトンボ



見つけるポイント

平地から低い山の湿地や田んぼ、小川、池で普通に見られる。

とくちょう

大きさは5～6cmくらい、雄は成長すると黒い色になって、おなかの前方に白い粉が出て、おなかの部分は白と黒の2色に見える。雌や幼いものは、黄色に小さな黒い点のようがあり、ムギワラトンボと呼ばれる。

まちがしやすい生きもの

シオヤトンボ(6～9cmとやや小さく、雄はおなか全体が白っぽく見える。)、オオシオカラトンボ(シオカラトンボよりやや大きく、おなかの幅が広く見える。)

ナナホシテントウ



見つけるポイント

平地から低い山の日当たりの良い草原や、畑地の周辺で普通に見られる。

とくちょう

大きさは5～9mmくらい、半球形の体をしていて、赤色からオレンジ色の体に黒い7つの点のもようがついている。

まちがいやすい生きもの

ナミテントウ(紋のないものから19個の点もようのものまでいる。黒い体に赤やオレンジの紋、オレンジ色の体に黒い紋など色の変化が大きい。)、ニジュウヤホシテントウ(ナスなどの葉を食べる害虫、オレンジ色の体に28個の黒い点がある。)、トホシテントウ(赤い体に10個の黒い点がある。カラスウリ類の葉を食べる。)

ノコギリクワガタ



見つけるポイント

平地から山地までの広葉樹の林で、6月から11月頃成虫が見られる。クヌギやコナラの樹液に集まる。

とくちょう

3～7cmくらいの黒い体で、湾曲した2本の大きな大あご(つのにみえる)の内側に、ノコギリのようなギザギザがある。大あごを動かして、ものを挟むことができる。

まちがいやすい生きもの

ヒラタクワガタ(直線的な大あご、色が黒っぽく体が大きい。)、ミヤマクワガタ(頭の部分に、えらが張ったような突起がある。)、カブトムシ(先が割れた大きなつのと小さなつのがある。つので、ものを挟むことはできない。)

ニホンアマガエル



見つけるポイント

植物や木の上にいる。照明に集まった虫を食べるために、人家の窓や自動販売機にくることもある。

とくちょう

2～5cmくらいの大きさと、腹側が白で、背中の色は黄緑～茶色・灰色に変化できる。鼻から目、体の横に沿って茶色の線がある。

まちがいやすい生きもの

シュレーゲルアオガエル(体は3～5cmで大きい。顔に茶色の線がない。水田や森林にいる。)

ウスカワマイマイ(カタツムリ)



見つけるポイント

人家近くの庭園や農耕地でよく見られる。山林などでは見られない。カルシウムを得るために、コンクリート壁やブロック塀などにいるのを見かけることがある。

とくちょう

からの高さが2cmくらい、からの直径が2.5cmくらいの大きさ。やや背の高い渦巻き状のからで、からが薄く、中が透けて見える。からも身もクリーム色で、黒い斑点が入るものもいる。

まちがいやすい生きもの

オナジマイマイ(からの高さ1.5cm、からの直径2cmほどで、やや小型)、ヤマタニシ(殻は茶～黒茶色で、蓋を持つ。山地の落ち葉や礫の下で見られる。)

コサギ(白い色のサギ)



見つけるポイント

水田や川辺、海岸などで首を縮めて立っている姿がよく見られる。魚類、カエル、ザリガニなどを食べる。冬になると暖かい地方へ移動する。

とくちょう

背の高さは60cmくらいで、全身が白色。足の指が黄色い。夏羽では頭に2本の長い冠羽がでる。背の飾り羽は先が巻き上がる。

まちがしやすい生きもの

ダイサギ(背の高さ90cm、全身が白、冬はくちばしが黄色い。夏は黒い。)、チュウサギ(背の高さ70cm、全身が白、足は全体が黒く、眼先が黄色。ダイサギに似るが、体長が小さいこと、嘴が短く口角の切れ込みが眼の真下で止まる。)

マガモ



見つけるポイント

冬に、池・湖、川、海岸などで見ることができる。水草、植物の種子、貝などを食べるが、水中にもぐれず首を突っ込んで逆立ちする。暖かくなると北に移動する。

とくちょう

体長50～65 cm。繁殖期のオスは黄色のくちばし、緑色の頭、白い首輪、灰白色と黒褐色の胴体。春から初夏の繁殖期以外は雌に似た色になる。メスはくちばしが橙と黒で、ほぼ全身が黒褐色の地に黄褐色のふちどりがあがる羽毛。

まちがしやすい生きもの

アヒル・アイガモ(同種であるが野鳥ではない。見分けは困難な場合が多い。)、カモ類の雌(各種の雌はよく似た配色となるので、しっかりとした観察が必要。)

オオキンケイギク



見つけるポイント

河川敷や道ばた、のり面などで5月～7月に黄色い花を咲かせている。

とくちょう

高さは30cm～70cm程度、5月～7月にかけて黄色のコスモスに似た花を咲かせる。葉っぱは細長い形であるが、大きくなると切れ込みが少し入ることがある。栽培や移動などが禁止される、「特定外来生物」に指定されている。

まちがしやすい生きもの

キバナコスモス(遠目では区別しにくい。高さは約30～100cm、ふつう60cm程度。6月から11月にかけて直径3～5cm程度の黄色、またはオレンジの花が咲く。花の色が濃く、葉が細かく切れこむことで区別できる。)